

浅井町ふれあいたより



3月号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」 発行日 令和3年3月1日
発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)
ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」)

子どもの成長には欠かせない大切な3月

一宮市立浅井南小学校 校長 吉峯 博司

学校にとって、3学期は1年のまとめの時期となります。また、次年度への準備を進める学期でもあります。どの学校でも次の学年への「0(ゼロ)学期」と位置付けて、進級・進学を念頭に置いた学習面・生活面のまとめとともに、次学年の心構えを持たせる指導をしています。

校内ではまだまだ世話をされることが少なくない1年生が、心温まるプレゼントを新1年生のために制作し、2月の入学説明会の折に保護者へ渡しました。こうした活動を通して、2年生への心構えができ、学習や生活面で頼もしさが見られるようになってきています。校内での児童会・委員会活動や通学団班長の活動は、2月末から3月初めに6年生から5年生へと引き継がれ、5年生が最上級生になるという心構えを持って活動に取り組んでいます。また、3学期の後半には感謝の気持ちを伝える行事も多く行われます。そういうまとめの時期だからこそ行われなければいけない様々な事が、1年前のこの時期には、ほとんどできませんでした。全国一律の休校措置によって子どもたちは登校できなかったからです。そのときに、3月の1か月間は、児童にとっていかに大切な時期であるかということを感じました。

この先、6年生を送る会、卒業式といった1年を締めくくる大切な行事が続きます。在校生・卒業生ともに、お世話になった方への感謝の気持ちを伝えられるようにしていきたいと思います。

「ありがとう」の言葉が飛び交い、誰もが温かい気持ちで、有終の美を飾ることができる3月になるよう職員一同、力を合わせて取り組んでいきます。

私事ですが、この3月で定年退職を迎えます。短い期間でしたが、保護者の皆様をはじめ地域の皆様には、浅井南小学校に対して温かく多大なご支援とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。有難うございました。



【卒業式の様子(昨年度)】

「防犯ブザー」をプレゼント

浅井町連区町会長会と連区防犯委員会は、毎年、小学校の新1年生に防犯ブザーを贈っています。今年も1月19日(火)川原連区長と井戸、柴垣副連区長が浅井3小学校を訪問し、各小学校60個の防犯ブザーを贈呈しました。

新入学児童が事件に巻き込まれないように、そしてもし事故、事件等に遭遇した場合には速やかに難を逃れ、或いは非常を知らせるべく、携帯品の1つとして活用されることでしょう。安全で安心な日常生活、学校生活が送れるようにとの願いを込めての贈呈です。



退任の挨拶①

浅井公民館連区公民館長 大野 史郎

令和元年度、2年度と公民館長を務めてまいりましたが、この3月末をもちまして退任させていただきますの大野史郎でございます。在任中、浅井町の皆様方には公民館行事に格別のご協力、ご支援を頂きましたことに厚く御礼申し上げます。ただ、残念ながら新型コロナウイルスの蔓延により、今年度はほとんどの行事を中止せざるを得ませんでした。3年度以降はすべての行事が復活し、皆様が笑顔で参加して頂けますようお願いし、退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



退任の挨拶②

浅井町連区町会長代表者 川原 充



1年前に令和2年度の浅井町連区長を拝命し、さあこれからという時に新型コロナウイルスに見舞われて、連区事業の殆どが中止せざるを得ないという事態に直面しました。各種事業を楽しみにしておられた皆様方には本当に申し訳なく思っています。右往左往するばかりでありましたが、今回の経験が危機管理への知見を深める糧となって、将来に活かせることが出来ればとの思いです。正副連区長をはじめ町会長会一同より、浅井町連区の更なる発展と皆様方のご健康・ご多幸を祈念して、お礼の挨拶とさせていただきます。

退任の挨拶③

浅井町長寿会会長 瀧本 明

浅井町長寿会会長に選ばれた時（昨年2月頃）コロナについては中国で新型インフルエンザらしきものが発生しているとか聞きませんでした。それが今ではマスク無しでは出歩けないような感染拡大となってしまいました。一番困ったのは公民館会議室が利用禁止となったことでした。急遽他の会場を探し、変更を郵便手配手配しました。また長寿会主催の研修旅行についても中止とせざるをえなかったりとあわただしい思いをしました。行事はほとんど開催できませんでした。一刻も早くコロナが終息し、これらの行事が再開できることを祈っています。皆様の健康と浅井町長寿会が一層発展することをご祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。



手をつなぐ子らの教育展

1月29日(金)から2月2日(火)まで「第59回一宮手をつなぐ子らの教育展」が一宮スポーツ文化センターで開催され、市内の特別支援学級・学校の児童、生徒の作品を展示しました。教育委員会と一宮市手をつなぐ親の会の共催で、メインテーマとして「できたよ かけたよ たのしいよ」を掲げ、個性豊かな作品を作り上げました。

今年は新型コロナの影響で、内容、運営等が昨年度までとは異なりましたが、一生懸命作った作品から子どもたちの成長過程を知ることができた作品展でした。



市制施行 100 周年と中核市へ

一宮市は、市制施行 100 周年を迎える 2021（令和3）年 4 月に中核市へ移行します。尾張地域では初めての中核市となり、福祉、保健衛生、環境、都市計画、教育分野などで新しいサービスの提供が期待されます。右のロゴマークは、100 周年を記念して作られました。

いちばんだいすき。一宮

